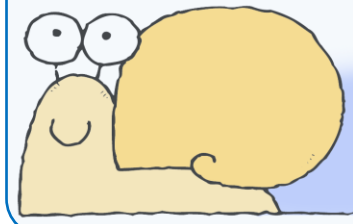
羽生北小学校
令和７年夏休み

いよいよ夏休みがやってきました。夏休み用の本を一人３冊ずつ貸し出しました。夏休みにもたくさんの本に親しんでほしいと思います。また、８月１日（金）～８月３日（日）はハートフルデーです。夏休みもおうち読書の御協力をよろしくお願いします。

北小健ちゃん読書まつり

１・２年生	３年生	４年生	５・６年生
１５さつ	１０さつ（１さつ 50 ページ以上の本がめやす）	700 ページ（１さつ 50 ページ以上の本がめやす）	800 ページ（１冊 100 ページ以上の本がめやす）



目標達成賞をもらった人数

235 ／ 358（人）

１学期　達成記録

１・２年生	３年生	４年生	５・６年生
45 さつ	30 さつ	2100 ページ	2300 ページ

読書賞をもらった人数

111 ／ 346（人）

１学期の図書室　利用状況

貸出冊数

４月	926 冊
５月	1,526 冊
６月	2,283 冊
７月	1,412 冊
1学期	**6,147 冊**

読書感想文

今年度も読書感想文は、チャレンジ課題（希望者のみ）としました。

読書感想文は、「考える読書」とも言われ、書くことによって考えを深めることができます。チャレンジ課題ですが、ぜひ、時間に余裕のある夏休みに取り組んでほしいと思います。

読書感想文の課題については、『夏休み課題確認一覧』を見てください。

夏休みも本に親しみ、お気に入りの１冊を見つけてみましょう！

令和7年度 課題図書

1・2ねんせい

『ぼくのねこポー』
『ともだち』
『ライオンのくにのネズミ』
『ワレワレはアマガエル』

3・4年生

『ふみきりペンギン』
『ねえねえ、なに見てる？』
『バラクラバ・ボーイ』
『たった2℃で…：地球の気温上昇がもたらす環境災害』

5・6年生

『ぼくの色、見つけた！』
『森に帰らなかったカラス』
『マナティーがいた夏』
『とびたて！みんなのドラゴン：難病ＡＬＳの先生と日明小合唱部の冒険』

Q 「課題図書」・「自由図書」って何ですか。

A　読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題図書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を幅広く選んだものです。

一方、自由で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由図書」です。

読書感想文 Q&A

おうちの人と一緒に読んでください。

Q なぜ、本を読むことが大切なのですか。

A　人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A　魅力的な題名は人をひきつける力があります。自分が一番感動したことやもっと言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A　読書感想文は、本を読んでの自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」でくくりましょう。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A　書くことによって考えを深められるからです。読書感想文は、「考える読書」ともいわれます。時がたてば、感動した記憶は薄れてしまいます。感想文を読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができます。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A　本を選んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読みましょう。自分の生き方や経験と本の世界を照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きに当てはまるか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうする内に何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかがはっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずです。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A　思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だと言えます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもよいでしょう。友だちと紹介し合うのもいいですね。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A　本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝わるように十分に書き表すためには、ある程度の言葉の量が必要です。心の中のあふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱいに使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

参考「第71回 青少年読書感想文全国コンクール 感想文Q&A」一部抜粋
詳しくは、https://www.dokusyokansoubun.jp をご覧ください。